

日刊 發行兼編輯人 川崎文治 本社下同番地(電話六三〇番) 印刷所 常盤毎日印刷所



定額 一月五元 半年二十五元 一年五十元 廣告費 別定 印刷費 別定 電話 六三〇番 福島縣石城郡平町長橋町三五番 發行所 常盤毎日印刷所 電話 六三〇番

刊夕日八十月九

**滿蒙經營の基調** 山本象太郎 (士)

吾々の計算では支那人に支拂ふ労働賃銀は約十分の三に過ぎないで、十分の七は日本が投資した所の資本收入及び鐵道船舶の運賃收入等になるのである。日本は日本に歸するので農産物の收入に歸する。是れ其の意義を異にし其の得失に非常な大きな懸隔がある。故に之等一億五千萬圓の生

産品を假りに滿洲から持つて來ることになれば少くとも支那に支拂ふ金は二三千萬圓で、日本の利益になるものは一億圓以上の計數になるものと見て大差なからうと私は信じてゐる、そこで斯ういふ意味合で滿洲に於ける經濟政策が所謂産業立國策の本旨に一致して國內の人口食糧問題の解決に當つて行くのであります。が何れにせよ日本の如く工業原料が非常に乏しく其の原料が乏しい爲めに、總ての事業が外國のやうに容易に起らぬといふ立場の上から見ますと滿洲は大きな財源であることが明瞭である。

**鳥肉 謝恩大賣出し**  
上肉 壹百斤 七十錢  
並肉 全 六十錢  
右價格にて新鮮優良なるものを差上ます  
賣出し期間 九月十四日よ 五日間  
市内は遠近に不拘迅速に配達をいたします  
平町南町三六(釜屋裏)  
**鳥 菊**  
電話七五三番

**花柳科専門 木村外科醫院**  
入院自炊の便あり  
平町五丁目橋際  
電話 三〇九番

内科 小兒科 花柳科 (需應院入)  
藤沼醫院  
電話 四五〇七番

**開店御披露**  
美味...大量...時節柄...安値  
御試食の上...御判談を  
出前迅速...一品配達歓迎  
大塚豚肉問屋...直營  
**カフエー 幸樂**  
平町六丁目電話五三九番

筑前琵琶教授 有山旭千師直門 吉田旭良  
古流盛花折入教授 松留齊 吉田理秀  
每週日曜(平町大町若松醫院向いつみや方)

**梅毒 淋病**  
皮膚病 專門婦人病  
松村病院  
平町南 電話七〇一

卵切ひやむぎ 御一人前金三十錢  
冷ビール 一杯金十錢  
さしみ 御一人前 十錢以上  
鰻 井 以金五十錢 上 八十錢以上  
鰻蒲焼 御一人前 八十錢以上  
御料理の仕出しは特に勉強致します

組	一等	二等	三等	四等	五等
本	十八金厚側瑞西製拾石入	十石入アンクル腕時計	最新式置時計	舶來ニッ折シース	弊店名入手拭袋全部
景	三	五	十五	五	五
品	個	個	個	個	個
景	抽籤場所	抽籤方法	抽籤發表	抽籤發表	抽籤發表
品	期日昭和三年九月一日滿二ヶ月間	在平新聞記者立會嚴正施行	御即位式當日當籤者各位ニ	御即位式當日當籤者各位ニ	御即位式當日當籤者各位ニ
引	公告	通知	通知	通知	通知
換	堂	ス	ス	ス	ス
景	景品引換	抽籤發表一ヶ月以内トス	抽籤發表一ヶ月以内トス	抽籤發表一ヶ月以内トス	抽籤發表一ヶ月以内トス

**COSSACK**

御大典記念品附特賣  
人名記念筆年萬クツサコ  
壹號...貳號...參號...  
價...價...價...  
也...也...也...  
種各他其  
**堂地天倉高** 町平城警

**極上中學服入荷**  
一年生位 四圓五十錢  
二年生位 四圓八十錢  
三年生位 五圓十錢  
平二なかや洋服店 電話二〇三

**外科 婦人科**  
花柳科 耳鼻科  
內科 × 光線科  
平町字田町  
**赤堂病院**  
(電話四七五番)

# 來月十五六の兩日 縣主催清酒品評會

## もご郡會議室に開かる

### 平町で協賛會

縣主催清酒品評會は來月十五十六の兩日に亘り平町元郡役所會議室において開催さるべく右準備として酒井縣商工課長は十九日來平の豫定であると言ふが品評會には弘く縣下の生産品を網羅するは勿論各名産地の参考品を多數陳列する等下向當日は主催側より知事各部長關係各課長等臨席來賓として仙台稅務監督局長縣下各稅務署長縣會議議員、酒造組合地方代議員評議員等約百數十名の多數に上る見込で町ではこれがため協賛會様なものを組織し出席者に對して記念品の贈呈その他相當の接待方法を講ずるものと觀られてゐる

### 受驗者廿名中 合格者二三人

本縣巡査採用試驗はこの程中署の樓上において執行されたが最初の受驗者約三十名は難關の數學でその大半がふるひ落され最後まで残つたのが僅に四五名で而もこの内身元その他を精査して合格者は結局二三名に過ぎぬだらうとの事で當今の世智辛さは斯くして採みあげの青い農家の二男三男にまで及ばんとつゝある

## 魚群を追ふ 遠洋漁業で 大漁船増加

本縣に於ける最近迄の鯉漁獲高は既に六十萬圓に達した本年の成績は近年にない豊漁で内二萬圓を突破せる江名町の三艘及び四倉町で向後今月一杯の漁期に於て江名一五、中ノ作九、四倉一四、豊間三、小名濱一、久之濱五、の合計四十七艘が平均千圓づゝとして四萬七千圓であるから總額少な

## 植田町會 増員を申請

### 定員十八名に

千圓以上長谷川八の稻荷丸、長谷川清九郎の靜明神丸外一艘

植田町議の定員は現在十二名であるが前回の選舉においては既に十八名の定員となすべき人口上の資格ある所から六名の増員方を縣に申請せるが過般の人口調査が標準となつてゐた爲め僅の差で増員出來ざる事となり十二名制度に依つてゐたがそれ以來人口相當に増加を示してゐるので増員再申請中なるが同町の町議改選は明年六月廿九日で遅くもその時期までには當然十八名制度に改正せらるゝであらう

## 愈よ本調子の秋冷

### この寒さは變態でない

#### 小名濱測候所の觀測

昨朝來から西北寄りの風が吹き氣温が低下して晩秋を思はせるつめた雨が降りそぼつてゐた、これは大じて天候に變化を來したのではないが沿海州に在る高氣壓（七六五ミ）が北高南低の状態となつてすつかり秋に這入つたわけである小名濱測候所の技手は語る「全國的に曇天で温度はやゝ低下してゐる、この雨は上海の東方にある低氣壓の影響をうけてゐるのであるが大した事はなないこの寒さはやゝ季節はずれな感じはするが變態的なものではない、これから一雨、と冷氣を増すのでいよゝ本調子の秋に入つたものであるとかし晴れ、ばまだ殘暑は去りきららずに相當暑からう今朝石城地方の温度は六十五度であつた」

## 坑夫組合の 陣容立直し

### 黨員を整理

日本坑夫組合常務聯合會の執行委員會は十七日午後三時から平町の支部で開催可兒本部執行委員外十餘名出席し來年度の連續的労働争議以來黨員大動搖を來した顛末を報告した次いで黨員の收拾並に新陣容樹立につき協議した結果執行委員が各分擔區を定めて黨員の整理と陣容の立直しにつき極力奔走する事とし午後七時閉會

## 耳の鬼

訓練所に出ぬ者と結婚致さぬ事

廣島縣安佐郡大林村といふ模範村の處女會では去月二十四日午後一時から同村小學校に行はれた青年訓練所員の查閱當日處女會の集會を開き青年訓練所の查閱を見學したる後執行官森本中佐の軍事講話を聴取して大いに感激し全會一致を以て青年訓練所に出席せぬ青年とは絶対に結婚をしない道で出會つても挨拶をしないことを宣誓した、これがため從來九十八パーセントの出席率で全國第一位であつたのがその後は全員一人も漏れなく出席すると言はれる好成績をあげるの珍現象を示してゐる

## 四倉蘭市場 秋繭取扱高

### 三萬貫見込

石城販賣利用組合の四倉蘭市場に於ける現秋繭の取扱は漸く終期を告げ去十五日迄の取引高は一萬二千五百貫此價格六萬五千圓で平均五十二圓に當り前年より約

## 御大典の秋 襟半の床奥

季節の變に目、常に目に新しい好みを見せるのは半襟であり、襟であり、半襟の役目は大きいといはねばなりません、そこでいふ趣向が凝らされるのであります、今年御大典にさしかかる秋として好ましいものが現れてをります

東京松屋 のそれによれば一たいに明快な地色

季節の變に目、常に目に新しい好みを見せるのは半襟であり、襟であり、半襟の役目は大きいといはねばなりません、そこでいふ趣向が凝らされるのであります、今年御大典にさしかかる秋として好ましいものが現れてをります

## 古代模様

即ち正倉院その他の古代織物にある模様や江戸時代のそれを取り入れて一見クラシックな感じのものであります、其が古くさい氣持を起さないのは配色の工合が近代例を示しますと薄朱の地に

## 御所車に 取合せた模様をあしらつたもの蒲風、稻束或は淡紅の地に籠の菊又は龜用に紅葉その他秋の草花等をあしらつたもの等ありますが、それ等が何れも輕薄なげな感じがなくなつてきてつとより落ちつきが見えま

### 典氣分には誠に相應しいものとされてをります

## 平町立商業校 昇格運動準備

平町所有の舊警城中學校舎の一部不用舎は過渡競賣をなし現在の教室は小學校に八教室及び町立商業學校に六教室外特別室に四室を使用して居るが第三小學校の新築と同時に現在の八教室は全部空室となるのでそれ迄に現在の町立商業學校を甲種程度に昇格して定員五

## 農會主任 福地技師講話

石城郡農會技師員同業主任會は十九日午前九時から元郡役所において開催諸般の協議打合せ後縣農事試驗場福地技師の本年度稲作に關する注意事項の講話があ